

防災力をさらに強化！乳用牛・肉用牛・畑作用の3種類対応BCPハンドブック完成

農業版BCPハンドブック（肉用牛・畑作用）を追加作成。昨年に引き続き地域農業の維持・継続に向けて、防災・減災の充実・強化を図る。

○ 施策分類

災害、収入保険（農業版BCP）

○ きっかけ・背景、課題の把握

当拠点では令和6年9月に農業版BCPの携帯用ハンドブックを作成し、令和7年3月に「JAしべちゃモデル」として乳用牛用ハンドブックを約250戸に配布した。JAしべちゃ・標茶町・生産者・当拠点が連携して普及に取り組んだ結果、一定の活用が図られた。その一方で、地域農業の維持・継続に向けては、減災対策の一層の強化が課題であると認識した。このため、肉用牛用・畑作用のハンドブックを新たに作成し、既存の乳用牛用についても内容を更新することを決定した。

○ 取組の内容

当拠点内に4つのチーム（攻めの農林水産業推進担当、施策担当、主任以下PT、広報担当）を編成し、各チームで協議を重ね、令和7年9月にハンドブック3種を完成させた。

同時にホームページ掲載内容の充実を図るとともに、プレスリリースを行った。さらに、予算概算要求オンライン説明会で説明を行い、市町村・JAとの意見交換の場で配布・説明することで普及拡大に努めた。

現在、ハンドブックに関心を持つ生産者に対し、作成を伴走支援している。

○ 効果・成果、今後の方向性

ハンドブックが地域の推進会議で紹介されたことで、地域全体で減災への共通認識を醸成することができ、ハンドブックの活用を検討する自治体も出てきているなど地域への広がりを見せている。さらに、プレスリリースに伴う複数マスコミの報道によって地元行政書士会や千葉県庁から資料提供依頼が寄せられ、阿寒消費者協会から講演依頼があるなど、波及効果も見られた。

今後も、JAや市町村と連携し、携帯用ハンドブックと農業版BCPの普及拡大に取り組み、必要な伴走支援を実施していく。



BCP携帯用ハンドブック



主任以下PTの様子



WEBセミナーの様子



農家への普及活動



阿寒消費者協会での講演